

最先端フェムテックを活用した女性医学
～最新レーザー&テスラ磁気治療～

日時 2022年11月12日(土)14:50～15:50

会場 第2会場 (米子市文化ホール 1F イベントホール)

座長 太田 博明 先生
川崎医科大学 産婦人科学2 特任教授/
川崎医科大学総合医療センター 産婦人科 特任部長



演者 女性下部尿路症状に対するEr:YAGレーザー装置
FotonaSmooth®XSの実際

中村 綾子 先生
医療法人LEADING GIRLS
女性医療クリニックLUNAネクストステージ 院長



演者 インティマレーザー&高強度磁気刺激療法スターフォーマー
～明るく健康的な人生100年時代のために、今求められる最新女性医療～

宮崎 綾子 先生
医療法人涼葵会 W Femina Clinic 院長



【本セミナーでご紹介されているレーザー装置及び高強度テスラ磁気刺激装置情報サイト】

- ◆インティマレーザー治療 (公式HP) <https://www.fotona-smooth.com/> (日本語情報サイト) <https://intimalaser.jp>
- ◆高強度テスラ磁気刺激治療 (日本語情報サイト) www.facebook.com/StarformerIntimawave

【最新医療情報・セミナーに関するお問合せ】

- <Fotona社日本代理店> ハルテック株式会社
- <婦人科・泌尿器代理店> TMKメディカル株式会社

<https://haltek.co.jp>
<http://tmkmedi.jp>
Tel. 052-253-7707

- ✉ info@haltek.co.jp
- ✉ info@tmkmedi.jp



【問合わせフォーム】

最先端フェムテックを活用した女性医学 ～最新レーザー&テスラ磁気治療～

座長 太田 博明先生

川崎医科大学 産婦人科学2 特任教授 /

川崎医科大学総合医療センター 産婦人科 特任部長

1. 女性下部尿路症状に対するEr:YAGレーザー装置FotonaSmooth®XSの実際

演者 中村 綾子先生

(医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAネクストステージ 院長)

当院では、女性泌尿科疾患で扱う、尿失禁、過活動膀胱、骨盤臓器脱、慢性骨盤痛、GSMなどはすべて骨盤底の障害としてとらえ、骨盤底疾患をトータルで治療することを目指し、運動療法士・看護師・理学療法士からなる骨盤底リハビリテーション部と医師が協力しながら治療を行っている。軽度から中等度の骨盤底疾患に対しては、骨盤底リハビリテーション部による骨盤底筋トレーニング指導、内服治療、磁気治療、ペッサリー療法などで経過をみていく。重度の骨盤底疾患であれば、尿失禁や骨盤臓器脱に対する経膈スリング手術、過活動膀胱に対するA型ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法などの手術を選択している。多くはこれらの治療で満足度の高い結果が得られるが、これらの治療で十分対応できない症例に出会うこともある。例えば、産後腹圧性尿失禁の患者で次の出産をのぞんでいる場合は骨盤底リハビリテーションが適用となるが、尿失禁改善が乏しい場合などである。

そこで新たな治療の選択肢としてレーザーなどの腔用デバイスを導入した。今回、紹介するFotona社(スロベニア)製Er:YAG レーザー装置FotonaSmooth® XS(治療名IntimaLaser™)は非蒸散性の特殊ロングパルスEr:YAGレーザー “Smooth® Mode Laser”の照射により、腔粘膜表層から粘膜下組織の深部まで熱が伝達する。粘膜表層温度は最大60-65度まで上昇し、熱作用による表層のシュリンケージが起こり、それに伴い深層組織が物理的に引きあがり、組織内の血流が改善される(一次効果)。術後、表層のシュリンケージは継続し、コラーゲン組織の新生による粘膜・腔壁の厚みが増える(二次効果)。適応は尿失禁、腔弛緩症、骨盤臓器脱、GSMであるが、当院では肛門からの照射により便失禁にも行っている。

さらに、近年注目されている腔美容に対しても、IntimaLaser™を積極的に用いている。当院では患者の半数以上が閉経後の女性であるが、介護をうけるときに陰部(VIOゾーン)を清潔な状態にしておきたいという思いから介護脱毛(VIO脱毛)をうける患者が年々増えている。VIO脱毛をうけると今度は陰部の黒ずみやたるみを気にする方が多く、IntimaLaser™によるホワイトニングやたるみ治療も積極的に行っている。

当院では、2022年2月からEr:YAGレーザー装置FotonaSmooth® XS(治療名IntimaLaser™)を導入した。IntimaLaser™治療のレーザー照射は3段階にわけられる。Step 1として腔前壁もしくは腔後壁に照射径7mm、フルエンスは6.0J/cm²、繰り返し周波数2Hzで照射を行う。Step 2では腔全周に照射径7mm、3.0J/cm²、2Hzで照射を行う。Step 3で尿道周囲や腔前庭部に照射径7mm、10J/cm²、1.6Hzで照射を行う。麻酔は9%リドカインクリームを腔口および外陰部に20分間塗布している。照射時間は全体で約20~30分である。また、尿失禁の場合、尿道からのレーザー照射を追加することもある。合併症は一時的な帯下増加や粘膜出血であるが、いずれも軽度であり重篤な合併症はみられていない。症状や重篤度に応じてレーザー照射治療回数は異なり、1-2か月毎に1-3回行っている。

今回、当院でのEr:YAGレーザー装置FotonaSmooth® XSの治療成績を示すとともに、対象となる患者像や、治療導入のタイミングなどについて報告する。



中村 綾子

2007年 横浜市立大学医学部卒業、日本赤十字社医療センター臨床研修医

2009年 横浜市立大学泌尿器病態学に入局、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院、横浜保土ヶ谷中央病院勤務

2013年 女性医療クリニックLUNAネクストステージにて泌尿器科外来を開始

2017年 LUNA骨盤底トータルサポートクリニック院長就任

2017年 女性医療クリニックLUNAネクストステージ院長就任

2022年 最新モデルタイムウオーカー®インティマレーザー™を導入

2. インティマレーザー&高強度磁気刺激療法スターフォーマー ～明るく健康的な人生100年時代のために、今求められる最新女性医療～

演者 宮崎 綾子先生

(医療法人涼葵会 W Femina Clinic 院長)

妊娠出産、加齢というライフイベントとエストロゲンの変動に伴い、女性には様々な下部尿路症状や性器症状が生じる。産後は腹圧性尿失禁が多いが、経過とともに混合性尿失禁になってしまう場合や、切迫性尿失禁がメインになるケースもある。これらの尿失禁には高率に腔弛緩症を合併しており、「お湯漏れ」「空気漏れ」「性交渉の感度低下」などの不快な症状を自覚しているにも関わらず、ケアをできていない女性が多い。一方で加齢に伴い起こるGSM(閉経関連泌尿生殖器症候群)による諸症状の中でも特に「性交痛」に関しては、女性としてのQOLを低下させる症状として治療を希望し来院する患者が多い。

このような女性特有の症状を低侵襲に治療する最新の治療法として、当院では2020年2月よりFotona社のVEL(Vaginal Erbium Smooth® Laser)通称「インティマレーザー™」を、2022年12月には婦人科初、高強度テスラ磁気刺激装置HITS™(High Intensity Tesla magnetic Stimulation)通称「スターフォーマープロ®」を導入している。

スターフォーマープロは既存の保険磁気刺激療法の5倍の出力があり、座面と背面に強力な磁場が発生する電磁コイルを内蔵した椅子型の機器で、設定モードを変更することで骨盤内から腰部周囲の筋力強化、血行不良の改善、排尿中枢の神経変調が可能である。これらの作用により、着衣のまま30分間座るだけで腹圧性尿失禁・切迫性尿失禁・便失禁などの治療や予防、産後や術後の骨盤底筋強化、腰背部痛(男性にはED、慢性前立腺炎)に対して効果がある。腹部や四肢に使用可能なアプリケーションを使用することで、30分間で腹筋運動5万回の効果がでることから、下腹部肥満など鍛えたい筋肉を選択的に鍛えることが可能である。サルコペニア・フレイルを予防し、明るく健康的な人生100年時代を過ごすために今求められている最新的女性医療について、症例報告を交えて報告する。

宮崎 綾子



2005年 近畿大学医学部 卒業

2007年 近畿大学医学部附属病院初期臨床研修終了

2007年 近畿大学医学部産婦人科学教室入局

2014年 吹田徳洲会病院産婦人科勤務

2018年 医療法人涼葵会Wクリニック婦人科

2020年 インティマレーザー導入

2022年 医療法人涼葵会W FEMINA CLINIC 院長就任 スターフォーマープロ導入